

平成22年6月期 第2四半期決算短信

平成22年2月12日

上場会社名 株式会社 ゼロ

上場取引所 東

コード番号 9028 URL <http://www.zero-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩下 世志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長

(氏名) 北村 竹朗

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日

TEL 044-520-0106

平成22年3月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第2四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第2四半期	25,277	△1.9	164	—	211	—	0	—
21年6月期第2四半期	25,767	—	△312	—	△295	—	△255	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第2四半期	0.02	—
21年6月期第2四半期	△14.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第2四半期	32,258	11,327	35.1	662.44
21年6月期	31,936	11,342	35.4	662.34

(参考) 自己資本 22年6月期第2四半期 11,322百万円 21年6月期 11,321百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年6月期	—	4.00	—	—	—
22年6月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,800	4.3	1,000	—	950	—	350	—	20.48

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年6月期第2四半期 17,560,242株 21年6月期 17,560,242株

② 期末自己株式数 22年6月期第2四半期 467,551株 21年6月期 467,551株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年6月期第2四半期 17,092,691株 21年6月期第2四半期 17,236,185株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年7月1日～平成21年12月31日）におけるわが国経済は、金融危機の深刻化は回避され一部では企業収益の回復はあるものの、政策による下支えやコスト削減によるところが大きく力強さに欠けているのが実態であります。設備投資や個人消費も低調なことに加えデフレの傾向も続いており、依然として不透明な経済環境であります。

自動車業界におきましては、昨春より導入されたエコカー減税、エコカーへの買い替え補助金制度により、国内新車の販売は前年同期比105.5%（日本自動車工業会統計データ）と、前年を上回る結果となりました。一方で新車輸出は円高や海外市場の影響で、前年同期比67.8%（日本自動車工業会統計データ）と大きく減少しました。また中古車市場におきましては、中古車購入時に補助金が交付されないこともあって販売の低迷が著しく、国内の中古車販売、中古車輸出ともに回復の兆しは見えておりません。当社が身を置きます車両輸送業界もこの新車及び中古車の動向がそのまま反映される形となり、当社グループにおきましても国内向けの新車輸送は堅調であったものの、中古車や輸出車の輸送受託がそれを上回る形で落ち込みました。

またカーセレクション（中古車入札会事業）への中古車出品が落ち込んだことに加え、一般貨物輸送事業においては不採算となっている業務の縮小や撤退を進めたため、売上高全体では前期を下回りました。

自動車の国内流通に関連する台数

単位：台

国内販売	平成20年7月～平成20年12月	平成21年7月～平成21年12月	前年比
新車			
国内メーカー *1	2,296,067	2,422,516	105.5%
（うち日産自動車） *1	(288,587)	(307,445)	(106.5%)
海外メーカー *2	99,490	91,450	91.9%
中古車			
乗用車 *3	2,027,887	1,864,283	91.9%
軽自動車 *4	1,308,954	1,188,605	90.8%
中古車計	3,336,841	3,052,888	91.5%
永久抹消登録車 *3	314,680	392,915	124.9%

輸出	平成20年7月～平成20年12月	平成21年7月～平成21年12月	前年比
国内メーカー新車 *1	3,221,286	2,182,747	67.8%
（うち日産自動車） *1	(369,112)	(290,959)	(78.8%)
中古乗用車 *5	750,598	360,289	48.0%

*1 日本自動車工業会統計より算出 *2 日本自動車輸入組合統計より算出 *3 日本自動車販売協会連合会統計より算出

*4 全国軽自動車協会連合会統計より算出 *5 日本自動車販売協会連合会統計の輸出抹消登録台数より試算

厳しい環境下ではありますが、当社グループでは今こそ企業変革期であるにとらえ、固定費の削減を軸に構造改革を積極的に進めた効果が利益面において昨秋より表れるようになってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が252億77百万円となって前期に比べ4億89百万円の減（前年同期比98.1%）となりましたが、営業利益は1億64百万円（前年同期は3億12百万円の営業損失）、経常利益は2億11百万円（前年同期は2億95百万円の経常損失）、四半期純利益は0百万円（前年同期は2億55百万円の四半期純損失）と改善いたしました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

(1) 車両輸送関連セグメント

当社の主要取引先であります日産自動車の国内新車販売台数は前年同期比106.5%（日本自動車工業会統計データ）と堅調に推移いたしました。しかしながら中古車の国内販売台数がそれを上回る形で落ち込み前年同期比で91.5%（日本自動車販売協会連合会および全国軽自動車協会連合会データ）となるなど、車両の輸送受託が市場全体の縮小に押される形で減少しました。

輸送の受託が落ち込む一方で、「拠点の統合や再配置」「間接業務の合理化」「自社輸送機材稼働率の向上」「中継輸送の削減」に取り組んでおりコスト削減が進んでおります。

平成20年10月に㈱ドライバースタッフグループを、また平成20年11月に㈱日産静岡ワークネットを買収、子会社化したことも当第2四半期を底上げし、売上高は221億75百万円（前年同期比100.8%）、営業利益は6億14百万円（前年同期比182.7%）となりました。

(2) カーセレクションセグメント

エコカーへの買い替え補助金制度（スクラップインセンティブ制度）の導入により、「低年式多走行」車を中心に取り揃えているカーセレクションは出品車の確保が難しい状況にあります。加えて景気の低迷に伴ってリース車両のリース期間を延長するユーザーが増え、リース会社からのリースアップ車の出品が減っていることもあり、出品台数は大幅に減少しました。また円高に推移する為替の影響により中古車輸出事業者の落札台数も減少したことなどにより、売上高は2億74百万円（前年同期比60.8%）、営業利益は44百万円（前年同期比39.3%）となりました。

(3) 一般貨物輸送セグメント

国内消費の低迷、デフレの影響は、当社グループが3PLにより配送、倉庫内管理を手がける食品、外食業界にも波及しているため、短期間での収益性改善が難しい商品センターについては取引の縮小、および撤退を進めました。そのため売上高は28億27百万円（前年同期比85.1%）と減少いたしました。営業利益は1億72百万円（前年同期比383.5%）と改善いたしました。

尚、上記セグメント別損益に含まれていない配賦不能営業費用（全社に共通する管理部門費用）は、「5. 四半期連結財務諸表(5)セグメント情報」に記載の通り「消去又は全社」の項目として計上しておりますが、当第2四半期連結累計期間では6億66百万円（前年同期比82.6%）となります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3.3%減少し、115億65百万円となりました。

これは主に、有価証券が5億1百万円、受取手形及び売掛金が1億20百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が9億66百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3.6%増加し、206億93百万円となりました。

これは主に、のれんの償却によりのれんが1億81百万円、システム開発費(ソフトウェア)の償却等により無形固定資産その他が1億63百万円それぞれ減少したものの、川崎複合物流センター工事完成引渡時代金支払等により有形固定資産が9億59百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1.0%増加し、322億58百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5.7%減少し、72億99百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が95百万円増加したものの、短期借入金が75百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億13百万円、未払金等の流動負債その他が4億4百万円それぞれ減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ6.0%増加し、136億32百万円となりました。

これは主に、退職給付引当金が1億60百万円減少したものの、長期借入金が8億2百万円、預り保証金等の固定負債その他が1億33百万円それぞれ増加したことによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べ1.6%増加し、209億31百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ0.1%減少し、113億27百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,255	5,222
受取手形及び売掛金	5,424	5,304
有価証券	701	199
貯蔵品	156	115
繰延税金資産	204	209
その他	867	955
貸倒引当金	44	45
流動資産合計	11,565	11,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,005	891
機械装置及び運搬具(純額)	222	231
工具、器具及び備品(純額)	110	78
土地	8,758	8,757
リース資産(純額)	631	626
建設仮勘定	-	2,182
有形固定資産合計	13,728	12,768
無形固定資産		
のれん	2,994	3,175
その他	443	606
無形固定資産合計	3,438	3,782
投資その他の資産		
投資有価証券	464	443
長期貸付金	301	254
繰延税金資産	1,979	1,946
その他	969	947
貸倒引当金	188	168
投資その他の資産合計	3,526	3,423
固定資産合計	20,693	19,974
資産合計	32,258	31,936

(単位: 百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,664	2,569
短期借入金	550	625
1年内返済予定の長期借入金	1,442	1,555
未払法人税等	278	250
未払消費税等	189	135
賞与引当金	395	418
その他	1,779	2,184
流動負債合計	7,299	7,738
固定負債		
長期借入金	7,759	6,957
退職給付引当金	3,460	3,620
役員退職慰労引当金	269	267
繰延税金負債	85	86
再評価に係る繰延税金負債	1,279	1,279
その他	777	643
固定負債合計	13,632	12,855
負債合計	20,931	20,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,390	3,390
資本剰余金	3,204	3,204
利益剰余金	5,790	5,790
自己株式	152	152
株主資本合計	12,233	12,232
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5	6
土地再評価差額金	904	904
評価・換算差額等合計	910	911
少数株主持分	4	21
純資産合計	11,327	11,342
負債純資産合計	32,258	31,936

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)
売上高	25,767	25,277
売上原価	23,529	22,511
売上総利益	2,237	2,765
販売費及び一般管理費	2,550	2,601
営業利益又は営業損失()	312	164
営業外収益		
受取利息	11	6
受取配当金	0	0
受取手数料	44	35
その他	56	93
営業外収益合計	112	135
営業外費用		
支払利息	33	78
たな卸資産処分損	26	-
支払手数料	23	-
その他	12	8
営業外費用合計	95	87
経常利益又は経常損失()	295	211
特別利益		
固定資産売却益	2	10
特別利益合計	2	10
特別損失		
固定資産売却損	-	2
固定資産除却損	35	7
投資有価証券評価損	8	-
特別損失合計	43	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	337	212
法人税等	76	229
少数株主損失()	5	16
四半期純利益又は四半期純損失()	255	0

(第2四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	12,326	12,863
売上原価	11,382	11,340
売上総利益	943	1,522
販売費及び一般管理費	1,276	1,278
営業利益又は営業損失()	332	243
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	0	0
受取手数料	20	17
匿名組合投資利益	-	23
その他	20	44
営業外収益合計	44	89
営業外費用		
支払利息	19	40
支払手数料	23	-
その他	5	7
営業外費用合計	47	48
経常利益又は経常損失()	335	284
特別利益		
固定資産売却益	0	10
特別利益合計	0	10
特別損失		
固定資産売却損	-	1
固定資産除却損	33	1
投資有価証券評価損	8	-
特別損失合計	41	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	377	291
法人税等	102	189
少数株主損失()	17	9
四半期純利益又は四半期純損失()	257	111

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	337	212
減価償却費	362	411
のれん償却額	18	181
貸倒引当金の増減額(は減少)	8	19
賞与引当金の増減額(は減少)	14	23
退職給付引当金の増減額(は減少)	197	160
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	21	2
受取利息及び受取配当金	11	6
支払利息	33	78
投資有価証券評価損益(は益)	8	-
固定資産除売却損益(は益)	32	0
売上債権の増減額(は増加)	1,147	120
たな卸資産の増減額(は増加)	36	40
その他の流動資産の増減額(は増加)	157	38
仕入債務の増減額(は減少)	994	95
その他の流動負債の増減額(は減少)	330	411
未払消費税等の増減額(は減少)	105	122
その他	11	73
小計	122	471
利息及び配当金の受取額	11	5
利息の支払額	32	83
法人税等の支払額	394	209
営業活動によるキャッシュ・フロー	538	184
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	11	6
定期預金の払戻による収入	49	-
有価証券の取得による支出	-	701
有価証券の償還による収入	-	200
有形固定資産の取得による支出	1,384	1,214
有形固定資産の売却による収入	3	80
無形固定資産の取得による支出	26	16
投資有価証券の取得による支出	0	18
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	2,097	-
貸付けによる支出	308	210
貸付金の回収による収入	159	136
その他	29	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,646	1,717

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,740	180
短期借入金の返済による支出	1,573	255
長期借入れによる収入	2,900	1,622
長期借入金の返済による支出	671	933
リース債務の返済による支出	16	53
自己株式の取得による支出	0	-
自己株式の売却による収入	0	-
配当金の支払額	87	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,291	560
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,893	972
現金及び現金同等物の期首残高	5,923	4,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,029	4,021

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日)

	車両輸送関連 事業 (百万円)	カーセレクト ション事業 (百万円)	一般貨物輸送 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	21,991	451	3,324	25,767	—	25,767
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	21,991	451	3,324	25,767	—	25,767
営業利益又は営業損失 (△)	336	112	44	493	△806	△312

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)

	車両輸送関連 事業 (百万円)	カーセレクト ション事業 (百万円)	一般貨物輸送 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	22,175	274	2,827	25,277	—	25,277
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	22,175	274	2,827	25,277	—	25,277
営業利益	614	44	172	830	△666	164

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、種類・性質・市場等の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要なサービス

事業区分	事業内容
車両輸送関連事業	自動車の輸送、整備、ドライバーの派遣、自家用自動車運行管理
カーセレクトション事業	中古車オークション
一般貨物輸送事業	一般消費材輸送、家電輸送、石炭・鉱滓等の荷役、倉庫賃貸

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日) 及び当第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高は僅少なため、記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。